

# 設 立 趣 旨 書

## 1 趣 旨

わたしたちは、女性が活躍できるしなやかな社会、あらゆる人たちの命・生活・尊厳が守られる社会を創造していくことを目指して、ウィメンズアイを設立します。ウィメンズアイは、コミュニティで女性たちが交流し小さな活動を始めるプロセス、女性たちがゆるやかな連携を形成していくプロセスを支援します。暮らしを見つめる女性の視点は、安心・安全な社会づくりにつながっています。ウィメンズアイは、自らの活動により自信をつけた女性たちが社会参加することで地域を担う存在となり、新しい社会づくりへの理解を広げていく動きを支えていきます。

## 2 設立に至るまでの経過

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の人的・物的被害をもたらし、わたしたちにとって支援のあり方とともに社会のあり方を見直すきっかけとなりました。震災直後から、わたしたちウィメンズアイの設立メンバーも市民ボランティアとして被災地内外の活動に参加してきました。

三陸沿岸の被災地域を中心とした活動を通じて、被災地支援に女性の視点が欠けていることに問題意識を持った有志により、2011年6月11日にウィメンズアイの母体となる任意団体RQ被災地女性支援センター（以下、RQW）を発足しました。被災地の復興過程において、女性や社会的弱者が置き去りにされないことがないよう、また、安全な立場に置かれるように、被災地や避難地での継続的な支援活動を地元の行政、市民団体と連携しながら行ってきました。

緊急支援期から生活再建期へ移行するなか、慣習に基づいた女性の役割の固定化が女性たちによる主体的な復興過程への参画を難しくしていると感じました。同時に、被災地の経験を自らのこととして捉え、災害に備える意識を地域に持ち帰る重要性にも気づきました。そこで、これまでの活動を通じて得た学びを活かし、男女共同参画と災害への備えの必要性を平時から広く一般市民と共有しさらに啓発することを非営利活動として長期的におこなっていくために、RQWの後継組織として、特定非営利活動法人ウィメンズアイを設立することといたしました。

平成25年2月21日

特定非営利活動法人ウィメンズアイ

設立代表者

住所

宮城県登米市南方町瀬ノ淵82番地6

高橋祐喜様方

氏 名 石 本 め ぐ み